

より首尾一氣に種々に中絶言中上降参して城を
圍み渡りたり然る間小關嘉左衛門始め働き強所し者
四五人召出されて以龍本より承ける義光公以時持玉
鉄の棒の後ちとも以身を放さる持玉へそ後天下一
統の後ち件の持玉少將義光と而忠る人玉ひて而藏
り納るなりとなり

一 ハッ沼之城を原甲斐守山形へ降参し傳ハッ沼城
原甲斐守討義光不利討死法名潔性院殿崇
山元樹大居士永禄八乙丑年 三千石

一 岸谷作守其先祖清和源氏本苗先生義賢の
後流信州より羽州に上東五百川荒宿之館三千石
余領に義光と合戦於和合原三十七人討死そ其
落城後作守法名位牌等福昌寺に在る石塔に
家光法名掃下丸馬今并た馬と有由也

右者最上院と題せし慈恩寺最上院の記録の寫しと
し書に出たり